

H28年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市体育施設（山麓公園テニスコート、TAC井出山スポーツセンター、HOS生駒北スポーツセンターを除く）		
所在地	生駒市門前町9番20号（生駒市体育協会滝寺S.C.）他		
指定管理者名	一般財団法人生駒市体育協会	指定期間	開始日 平成 27 年 4 月 1 日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日 平成 32 年 3 月 31 日
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 5 年のうち 1 年目
設置目的	市民の体育及びレクリエーション、社会体育の振興など		
主な実施事業等	体育施設の使用許可、使用の制限、使用料の徴収窓口業務、体育施設の維持管理運営など		

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
グラウンド・野球場・相撲場	人	250,000	298,935	127.1%	
体育館（会議室・多目的室含む）	人	290,000	262,197	100.8%	
武道館	人	20,000	20,575	115.3%	
テニスコート	人	100,000	86,082	103.6%	
プール	人	40,000	32,028	86.4%	

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考) 前年度実績
収入計	A	189,812,000	202,589,132	190,001,612
指定管理料		150,332,000	160,808,000	151,031,280
利用料金収入	C	37,000,000	37,566,155	35,445,680
自主事業収入(自販機)		2,000,000	2,384,250	2,416,035
その他(物販)		480,000	1,830,727	1,108,617
支出計	B	187,332,000	203,215,996	190,545,166
指定事業費		187,332,000	198,966,921	190,545,166
うち人件費	D	79,892,474	68,985,342	64,263,531
うち再委託料	E	48,161,252	58,206,789	53,525,453
自主事業費			4,249,075	
事業収支	A-B	2,480,000	-626,864	-543,554
利用料金比率	C/A	19.49%	18.54%	18.66%
人件費比率	D/B	42.65%	33.95%	33.73%
再委託費比率	E/B	25.71%	28.64%	28.09%

補足説明（必要に応じて記入）決算の指定管理業務と体育協会収益事業を合算した収支です。

*人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等		対応実績等
	6施設において、利用者に接遇、利用環境、管理運営についてアンケートを求めたところ4段階評価中99%以上で普通または満足の評価を受けた。		利用環境中の用具・器具に「やや不満」の評価があり、備品の再確認や整備を実施し、次年度の備品購入要求に反映する予定をしている。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	
	地域の利用者のニーズを適確にとらえ、清潔で安全な環境のもと顧客満足度の高い管理運営を心がけている。
市の評価	
	生駒市体育協会にとって本指定管理業務は2期目の2年目であり、それぞれの施設の特性や利用者ニーズを把握し、それらを反映した管理運営がなされている。また、応募時の事業計画書に則り、地元体育協会ならではの利用者目線に立った適切な管理運営がなされた。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	
	様々な種目の利用者の使用目的にあった分け隔てない管理運営を事業計画に沿って実施している。
市の評価	
	市の受付事務の手引き等を遵守し、公平で適正な施設使用許可がなされている。また、施設の有効活用の観点から、施設利用の少ない時間帯については、目的外使用についても積極的に市の方針に協力されている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	
	利用者の満足度は高いものの、施設備品の経年劣化及び老朽化に伴い、毎年少しずつ備品の入れ替えを検討する。
市の評価	
	市のスポーツ振興の最も中心的な存在である（一財）生駒市体育協会が指定管理者であるため、利用者の声を施設の管理運営に取り入れられていることはもとより、協会加盟29競技団体からの要望を、施設の管理運営面において素早く対応されているため、市への苦情や要望等も少なく、利用者の満足度は高いものである。また、北大和グラウンド・野球場再開時の、利用者目線に立った迅速な対応については高い評価をしている。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
	人件費、用水光熱費、委託料など固定経費の部分が大きく、その他の部分で経費削減に結び付けることは難しく、節電節水に努めるとともに消耗品などの支出の引き締めなどに取り組んでいる。
市の評価	
	軽微な施設の修繕や備品の修理等は、管理者自らが行うなど経費の節減をされている。また、外部委託が必要となる業務については、業務内容を精査し委託者と調整の上、経費節減を心がけるとともに、使用に影響のない範囲で、使用者に対してこまめな消灯や節水などの周知啓発もされており、環境への配慮も含め節減に努めておられる。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
	顧客満足度も高い運営を行うことで施設の有効活用を進め利用料金の増加を目指していきたい。また、総合型クラブの収益の増、自販機収入の増を目指す。
市の評価	
	利用者サービスとしての物品販売、自動販売機の設置など収入増加対策を講じられている。今後は、各管理施設独自での事業開催など、それぞれの地域の方々にも利用してもらえるような事業の展開も期待している。その他、現在の利用状況を見ながら、比較的空きの多い施設や時間帯などで、目的外使用や営利用などでの施設活用を進め、利用料金の増加に努めてもらいたい。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	
	市内在住者で各施設必要な人員を適材適所に配置し、手話筆談などの資料を配付して資質向上をはかり、環境マネジメントシステムにそって運用している。また協会加盟競技団体や、いこ増ッスルクラブなど、市体育協会できがなしい地域連携を行っている。
市の評価	
	地元体育協会が指定管理者であるため、市民を積極的に雇用されている。また、協会役員の中には、ECO-net生駒の関係者もあり、本市環境マネジメントシステムを熟知されているため、環境行動の取り組みについては非常に高い評価ができる。なお、地元体協できがなしい地域との連携で、各種事業を開催されている。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	
	総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」で、各種教室を幼児から高齢者、障がい者までが参加できるプログラムを、各施設の空きスペースを活用し実施している。
市の評価	
	地域医療機関と連携してのスポーツ障害予防教室の開催や、自主事業の大きな柱である総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」の運営の中で、施設利用が少ない時間帯や曜日をクラブの教室等で有効に活用されている。なお、いこ増ッスルクラブの様々な事業展開の結果、子どもから高齢者、障がい者までのそれぞれのニーズに合ったスポーツ活動がより一層推進されているため、今後の更なる活躍を期待している。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	
	防災防火対応の専門知識を有する人材を積極的に雇用し危機管理マニュアルに沿って、緊急時の連絡体制や役割分担を明確にし、有事の際に早急な対応が取れる体制を整えている。また、個人情報を取り扱う窓口対応やいこ増ッスルクラブの会員管理については特に注意をはらっている。
市の評価	
	スポーツ活動には事故が起こる可能性が高いことや各施設が避難所になっていることから、防災防火対応の専門知識を有する人材の雇用については評価できる。ただし、各種マニュアルの更新ができていない施設があるため、今後は全施設（管理6施設）の意思統一の徹底をお願いしたい。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	平成28年度は、事業収支としてはマイナス決算であった、施設の利用率収入の増加、増ッスル事業の活性化自主事業の売り上げ増となるような取り組みにより収益の向上はかる。
市の評価	今期から利用料金制を導入しているため、年度によって施設の利用率収入に若干の違いが生じることが予想されるが、施設の有効活用や自主事業などで収入を増加させる努力をされている。今後は、施設の空き時間帯を利用した目的外使用や営利使用などの活用を進めるとともに、総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」の継続的な活動をはじめ、市民のスポーツ活動が促進されるような自主事業の展開を期待する。

6 指定管理者の財務の状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
資産	28,465,047	20,940,204	21,592,885
流動資産	28,465,047	20,940,204	21,592,885
固定資産	0	0	0
負債	2,632,200	433,858	1,611,158
流動負債	2,632,200	433,858	1,611,158
固定負債	0	0	0
純資産	3,000,000	3,000,000	3,000,000
資本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
売上高	11,427,892	2,158,035	2,826,091
経常利益	3,025,584	5,326,501	-626,864

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
自己資本比率 純資産/資産×100	10.5%	14.3%	13.9%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	87.7%	14.5%	53.7%
固定比率 固定資産/純資産×100	0.0%	0.0%	0.0%
流動比率 流動資産/流動負債×100	1081.4%	4826.5%	1340.2%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	0.0%	0.0%	0.0%
総資産回転率 売上高/資産×100	40.1%	10.3%	13.1%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	10.6%	25.4%	-2.9%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価	施設の空き時間帯の有効活用や利用者に安心して使用して頂ける体制を築き収入の増加をはかってゆきたい。6施設の均一なサービス提供ができるよう職員のスキルアップをはかってゆく。財務状況については、支出科目金額が年々固定されて行くなか、企業への再交渉を踏まえ、収益事業の活性化、自主事業の増加などに取り組み財務改善を行ってゆきたい。
市の評価	市内最大のスポーツ団体である（一財）生駒市体育協会が指定管理者であることが、市内のスポーツ愛好家にとって、より良いスポーツ環境を作り出すことに繋がっていると考えている。なお、指定管理者として2期目を迎えており、しっかりと利用者ニーズを把握されていることから、利用者目線に立った管理運営となり、多くの施設利用者に喜ばれている。また、平成26年度末に廃止した「北大和野球場・グラウンド」の再開については、指定管理者としての事業計画書の作成や提出をはじめとし、再開に向けての各種整備等で迅速な対応を取っていただいたことは、多くの利用者から非常に高い評価を得ている。